

SOLAN HARMONY

★第3クォーター 終了★ ありがとうございました！

第3Qの登校日は53日でした。保護者の皆様には、日頃よりSOLANの学習活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、昨日12月19日（木）に開催された学習発表会・懇談会には、ご多忙の中、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、この1年間の成長した姿を保護者の皆様にお伝えし、感謝の気持ちを表そうと一生懸命に取り組んでいました。その成果をご覧いただけただけではないかと思えます。改めて感謝申し上げます。

第3Qでは、子どもたちの心を育てる活動に力を入れてきました。学活や道徳の時間には、リフレーミングを練習したり多様性について考えたりするなどの「社会情動的スキル（Social and Emotional Skills）」を実践的に学ぶ活動を行いました。

日頃子どもたちと話していることの1つをご紹介します。例えば、係の仕事で配布物を配るのは作業と捉えられるかもしれませんが、しかし、みんながすぐに課題を始められるように迅速かつ丁寧に配布したり、欠席した友達のプリントを整理してあげたりすることで、それは学級の仲間を「喜ばせる」大切な「仕事」になります。この違いについて話していくと、子どもたちは少しずつ理解を深めているように感じます（右段資料を参考にしています）。

子どもたちは、こうした日々の活動を通じて、自分の行動が誰かを支えたり喜ばせたりする力を持っていることに気付き始めています。その逆もまた然りで、プラスを増やし、マイナスの関わり方を減らしていくことが重要です。こうした学びは、これからの社会を生きていく上で大切な力となります。

4Q以降も、子どもたちが自分の役割や行動の意義を実感し、学級全体で協力し合える環境を育てていきます。よろしく願いいたします。

【参考資料】

仕事と呼ばれるもののほとんどは、実は単なる作業である。その作業を通して人に喜んでもらうからこそ『仕事』なんだと思います。

例えば、「ジュースを買ってこい」という上司の指示があったとします。誰でもできますよね。

単純に買ってくるだけなら単なる作業です。小学生でもできます。でも、それは『仕事』ではありません。「作業」です。「ジュース買ってこい」の依頼に対して、あなたはどの行動しますか？

- ① 儲けには関係ないから、適当にしよう。
- ② 上司に怒られるから、仕方ないな。
- ③ 相手は買い物に10分かかると思っているだろう。
それならばもっと早く帰ってきて、びつくりさせたい！

相手の予想通りの「作業」をしてはならない。仕事とは、「相手の予想を上回ること」です。

①②は予想の範疇です。ここでは③で考えましょう。しかも、猛ダッシュで予想の半分の時間で買い物をしたらどうなるでしょう。相手はびつくりして、「お前、仕事が早いなあ」と本当に喜ばれます。

「相手の予想を上回る」というのが仕事です。せっかくやるのであれば、一生懸命です。

ジュースを猛ダッシュで買って来て、汗だくで「お待たせしました！」と言ったとき、相手は「え、なんでそんなに早いん？ お前すごいやん」と見る目が変わるはずですよ。

師匠の言う「仕事」と「作業」の違いを説明すると…

- <作業> 言われたことだけやること
- <仕事> 言われた人の予想を超える仕事をする

「作業をするな！仕事をせえ！」というのが師匠の教えです。せっかく仕事をするのであれば、一生懸命にやるのです。相手の予想を超えて、感動してもらいます。

引用：「お金でなく、
人のご縁ででっかく
生きる！」

中村文昭：著
サンマーク出版

学習成果発表会
の様子



“Embracing Diversity, Creating Harmony:
Students Unite for Success”

